

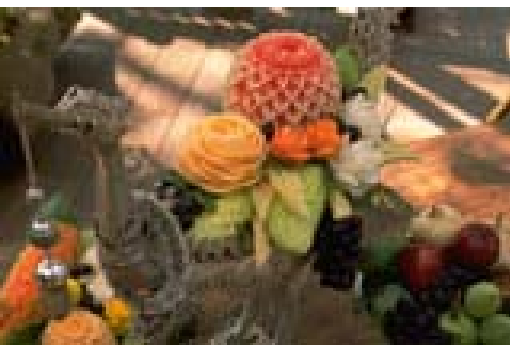


# 魅惑の国タイ 食文化と歴史

อาหารไทย

フードアナリスト

草間 由紀



# 歴史と食

## スコータイ王朝

- 1238~1438年
- シー・インタラーティット王
  - タイ北部の南端。タイ民族初の統一国家
- 三代目ラムカムヘン王
  - タイ文字、仏教の普及、自由交易
- 碑文「水中に魚あり 田に稲あり」



# 歴史と食

## アユタヤ王朝

- 1351~1767年 ウー・トン候(ラーマティボディー1世)
- 34人の王、400年続く大王朝
- 中国、日本、西欧諸国と交易：国際商業都市
- プリッキーヌーの登場
- 中華料理の影響
  - クイティアオ
- 宮廷料理
  - カービング
  - ポルトガル料理の影響：鶏卵菓子



# 歴史と食

## チャクリー王朝

- 1782年～現在 チャオプラヤーチャクリー
- 中国からの移民、西欧から貿易商の居住
- ラーマ5世(1868年～): 西欧の侵略から国を守る
- 宮廷料理の発展: 貴族の娘が見習いに。



# 地理と食

## 北部山岳地帯

- ランナータイ王朝(チェンマイ)
  - カーン・トーク
- ラオス、ビルマ料理の影響
  - カオソーイ
  - ナム・プリック・ヌーン



# 地理と食

## 東北部

- イーサーン料理
  - 出稼ぎ者が多いため、都市部に広まる。
  - ソムタム、ラープ、ガイヤーン
- ラオス料理の影響
  - タムマークフーン: ソムタムの原型



# 地理と食 南部

- タイランド湾、アンダマン海
- マレーシア、インド料理の影響
  - ゲーン・マッサン
  - マレー風フィッシュカレー
  - サテ
- イスラム教徒



# 地理と食

## 中央平原

- 肥沃な地帯
  - 水田：最高級の米
  - 果実園、菜園
- バンコクを中心にチャクリー王朝で発展
  - ラーマ5世が最盛期
- 宮廷料理と屋台など街場の料理





# タイワイン

- 「New Latitude Wine」 新緯度帯ワイン
- 1990年代～
- 1996年アジア欧州会議(ASEM)
  - Chateau de Loei: シラー、シュナンブラン
  - ボルドーから技術者
- カオヤイ・ワイナリー: ピロム、サワディー、PB
- サイアム・ワイナリー: モンスーンバレー



シャトウ・ドゥ・ルイー